

エアコン修理
ネットで探した
業者に注意

事例

お盆休みにエアコンが動かなくなりメーカーに連絡したが、修理は5日後になると言われ、スマホで修理業者を探した。「即日対応」「3000円」「見積もり無料」という業者を呼んだら「エアコンのガス漏れが原因。ガスの補填代など7万円かかる」と言われた。高額だったが、すぐに修理をしてほしかったのでお願いし、作業後代金を支払ったが、翌日また動かなくなった。

夏場を中心にエアコン修理に関する相談が増加し、中でもネットで探した業者とのトラブルが目立ちます。

即時対応、低価格を強調するネットの広告を見て業者を呼んだところ、出張料、診断料、作業料、冷却ガス代など想定外の

高額な料金を提示されたが、修理を急ぐあまり了承し支払ったというものです。さらに作業から数日で故障が再発し、再修理を求めようと思っても、業者と連絡が取れないケースも見られます。

また修理不能として、その場でエアコンの買い替えを求める業者や、ブレーカーの老朽化が原因としてブレーカーの交換を勧める業者もあります。不意打ち的な契約では、クーリングオフを主張できる場合もありますが、現金で全額払ってしまうと、取り返すのは困難です。

「24時間対応」「出張費無料」といった修理業者の広告がネットにあふれていますが、安易に飛びつくのは危険です。依頼前に作業内容・料金・支払い方法を確認し、説明があいまいな業者、料金の後日振り込みに対応してくれない業者は避けましょう。

家電製品の修理は、製品を購入した販売店か製造メーカーに依頼するのが基本です。故障時の連絡先の一覧を作っておくなど、事前の備えが大切です。

消費生活センター

TEL 6319・1000
FAX 6319・1500